

# 平成 23 年度各専門部事業報告

(平成 23 年 5 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日)

東京都町村卓球連盟

## 1 総務部 (部長: 桑田、副部長: 清野、部員: 佐久間、徳永)

○総会等イベントの対応 (準備・とりまとめ・当日の運営・進行等を担当)

イベント名	開催日	場所	備考
平成 23 年度連盟定期総会	H23 年 6 月 4 日(土) 18 時～	立川柴崎体育館会議室	懇親会は実施せず
〃 新年会	H24 年 1 月 28 日(土)18 時～	立川グランドホテル	参加者 82 名
〃 理事研修会	H24 年 2 月 17 日(金)～18 日(土)	町田市ロテンガーデン	参加者 20 名

○当連盟の運営に関する規定の見直しを行い決定する。当連盟の連絡網 (緊急連絡用) を作成する。(H23 年 10 月)

○平成 23 年度理事会出席者名簿の作成

○平成 23 年度各専門部事業報告書の作成

## 2 広報部 (部長: 石川、副部長: 東野、部員: 佐藤、金山)

○広報誌への掲載

誌名	発行年月日	掲載内容
卓球ニュース市町村 76 号	23 年 10 月 10 日	吉田副会長…東卓の一員となって、定期総会、第 45 回市町村総合体育大会
〃 77 号	24 年 1 月 25 日	長谷川会長年頭挨拶、第 52 回市町村選手権大会結果、ロゴをプロに依頼し使用
〃 78 号	24 年 5 月 25 日	荻野前会長ご逝去の追悼文、喪主博之氏は広報紙 1 号に世界選手権代表で登場

○広告宣伝収入 市町村に店舗をもつ卓球専門店 5 社と年間契約を結び (5 千円/年)、連盟主催大会プログラム等の資料に広告を掲載

## 3 事業部 (部長: 長谷、副部長: 五十嵐、部員: 尾藤、柳沢、鳥居、見満、田村、佐溝、金澤)

○年間事業計画に従い各種大会及びリーグ戦等を運営した。国体に向けた体育館改修工事のため会場の確保に苦慮したが無事終了。

## 4 審判部 (部長: 紺田、副部長: 塩田、部員: 阿見、西原、吉崎)

○審判員の派遣・連盟主催各大会、関東信越地区高校体育大会(16名)、市町村大会(青梅市、27名)、市町村選手権大会(18名)

○審判員の養成・再生事業

実施日	大会	講師数	受講者数
8 月 7 日(土)	リーグ戦女子 1,2 部、男子 2 部	1	1
9 月 25 日(日)	市町村選手権	2	6
12 月 3 日(日)	リーグ戦女子 6 部	3	8
12 月 10 日(土)	リーグ戦女子 4,5 部	3	6

東京選手権大会に延べ 13 名の審判参加

○出張ルール講習会の開催

依頼元	派遣講師数	受講者数
桐朋女子中学高等学校卓球部	5 名	30 名

## 5 普及部 (部長: 永野、副部長: 関谷、部員: 森川)

○数年来実施の多摩地域高校卓球部調査については、普及拡大に向け着実に成果を得てきたと思う。高校卓球部からは当連盟に対し意見や問い合わせがあり、関心を寄せていただいている。当部では各市連盟実態調査を行い、会員数や実情の把握をまとめている。

## 6 ラージボール部 (部長: 斎藤、副部長: 毛塚、部員: 伊藤、協力委員: 斎藤、菊池) 下記はいずれも立川市柴崎体育館で開催

ラージボール大会名	開催日	参加者数等	課題等
第 11 回市町村オープン	10 月 15 日	308 名 (S:M79・W89 の計 168 名、MIXW:70 組 140 名)	参加人数の増加を図りたい。
市町村交流会 (リーグ戦方式による A,B,Cクラス別SとMIXW)	2 月 4 日	245 名 (S:M54・W69 の計 123 名、MIXW:61 組 122 名)	クラス別実力の平均化と参加人数の増加を図りたい。

## 7 会計部 (部長: 山宮、副部長: 北野、部員: 市原)

○多摩交流センターへの助成金申請、多摩交流センターだより「多摩のかけはし」への原稿・事業報告書の提出、集計会議への参加、各種大会の会計、会計会議、理事会手当支給、会計監査への対応等を行った。